

学習指導案

1 単元名「自己紹介をしよう」

2 単元設定の理由

(1) 児童の実態

1年生から月2時間程度の英語活動を行っている子ども達である。3年生になり、歌やゲーム活動だけでなく、友だちと英語を使ってやりとりすることにも楽しみを感じ始める児童が増えてきた。毎時間の挨拶ゲームやお買い物ごっこ等の活動では、学級の色々な友だちと楽しんで活動をする姿が見られる。しかし、他の学級や他学年との活動場面では、いつものメンバーで固まってしまう、自分からコミュニケーションをとることに消極的になってしまう面も見られる。

(2) 単元の持つねらいや価値

中学生に姉を持つ児童が、文化祭に向けて歌の練習に励んでいる姉の姿を紹介し、それを聞いた子ども達は、「上手な歌を聴いてみたい」と希望し、中学生との歌の交換会を行った。その場面で中学生に親しみを感じた子ども達は、「お兄さんやお姉さんのことをもっと知りたい」と願いを持っている。本単元では、中学生との交流の場面で、英語を使って自己紹介をしたり、お互いの好きなことを聞き合う活動を通して、英語の表現に親しんだり、友だち以外の人とコミュニケーションを楽しんだりすることをねらいとしている。

中学生との交流という活動は、「相手のことをもっと知りたい」「自分のことを知ってもらいたい」という願いを持って活動に取り組むことが期待できる。また、学年が離れていることもあり、消極的な児童にも中学生から関わりを持ってもらいながらやりとりをすることで、次第に自分から関わろうとすることも期待できる。

そこで、単元を4時間で構成し、第1時には、交流への願いをふくらませるために中学生に英語で聞いてみたいこと出し合って、必要な表現を確認する。そして、第2時では英語を使って交流するという目的意識を持ち、学級担任・ALTや学級の友だちどうして練習の活動を行う。また、実際の交流場面では、相手に伝わるようにジェスチャー等も交えてはっきりと伝える事や、アイコンタクトをする等の態度面でのポイントを意識できるように、活動に入る前や例示で確認したり、授業後のまとめで自己評価をしたりお互いに評価し合ったりする。第3時と第4時では、実際に中学生と英語を使って交流をする。

(3) 単元で期待する児童の姿

このようにして、相手を意識しながら、自分から積極的にコミュニケーションを楽しむ姿を目指したいと考え、本単元を設定した。

3 単元の目標

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ①慣れ親しんでいる英語の表現を使って、中学生とのコミュニケーションを図る楽しさを体験する。
- ②言葉だけでなく表情やジェスチャーを加えて、コミュニケーションすることの大切さを知る。

イ 外国語への慣れ親しみ

- ①同じ表現を使って何人もの人とやりとりをすることで、自己紹介や好きなことを尋ねる表現に慣れ親しむ。

ウ 言語や文化に関する気付き

4 教材研究

(1) 児童の実態 (○よさ △課題)

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○友達とのコミュニケーションすることの楽しさに気づき、自分から友だちとやりとりを楽しんでいる姿が見られる。

△普段の関わりが少ない仲間とやりとりする場面では尻込みしがちな子どもも見られる。

△相手を意識せずに、ゲームや課題をこなすことに意識が向いてしまい、丁寧に欠ける話し方や受け答えになってしまう姿が見られる。

【外国語への慣れ親しみ】

○慣れ親しんだ英語の表現や単語を自分から積極的に使おうとする姿が見られる。

【言語や文化に関する気付き】

○外国の文化など初めて聞くことに興味を持ち始め、ALT の話をよく聞いたり質問したりする姿がみられる。

(2) 単元の素材研究 (◇素材のもつ価値)

①話題：自己紹介や相手の好きなもの

◇自分や中学生の好きなもの知り情報交換することで相互理解につながる。

②場面：中学生との自己紹介や好きなものを聞く場面

◇今までの学習で慣れ親しんできた表現を使って中学生とのやりとりを体験することができる。

③表現：I like~. I don't like~. /Do you like~? Yes,I do. No,I don't./ What ~ do you like? I like~.

◇今まで学習し慣れ親しんできた表現であり、それらを実際の場面で使うことができる。

※上記の表現は、すでに学習済みの表現である。

④主な語彙：【食べ物】curry and rice, hamburger steak, spaghetti, など

【動物】cat, dog, hamster, rabbit など

【スポーツ】baseball, soccer, volleyball, など

【色】Red blue yellow pink green など

⑤活動：名刺交換、ビンゴゲーム、何が好きかを聞くインタビュー活動など

(3) 教材化

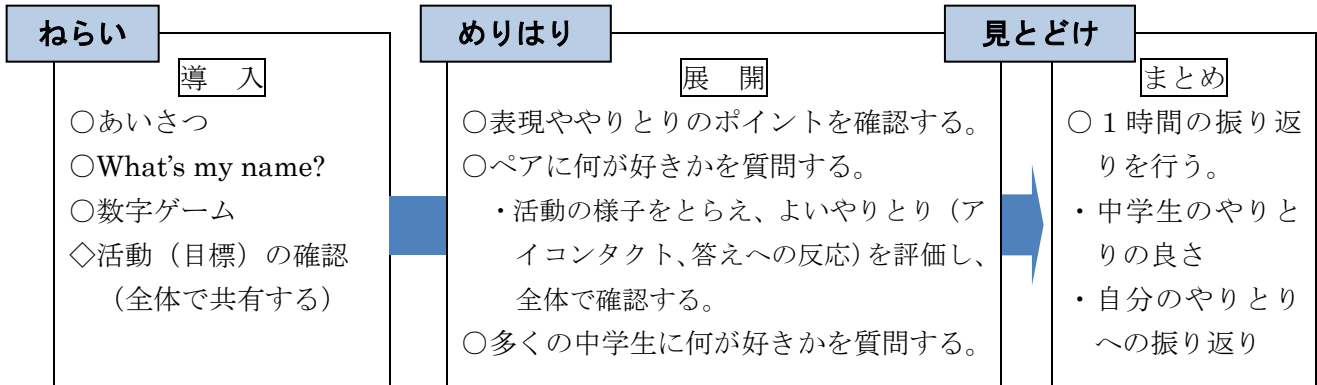
① 単元に寄せた教材化

「活動」という視点から表した単元展開 (A)聞く (B)口まね (C)記憶 (D)発話

主な活動	ねらい	第1時	第2時	第3時	第4時
自己紹介活動 (教師・友だちと)	繰り返し行うことで、自己紹介の表現に慣れ親しむ。		(C)(D)		
自己紹介活動 (中学生と)	多くの中学生とコミュニケーションを楽しむ。			(D)	
ビンゴ活動	相手を意識しながら、コミュニケーションを楽しむ。			(C)(D)	
数字ゲーム	数字を使ったゲームを楽しむ。				(D)
好きなもの インタビュー	多くの中学生とコミュニケーションを楽しむ。				(C)(D)

②本時に寄せた教材化

i) 本時の授業の流れ



ii) 本時行う活動とそのねらい

本時は、中学生に何が好きかをインタビューする場面で、相手の目を見ながらやりとりしたり中学生を見本に発話したりすることを通して、中学生と楽しくコミュニケーションを図ろうとすることをねらいとしている。

以下に、ねらいと活動の具体・留意点について記述する。

【What's my name?】

ねらい：前時に一緒に活動した中学生とグループになり、お互いの名前を覚えているかを確認し合う。

【やり方】

- ①前時のグループ毎に集まる。
- ②T1 と T2 でやり方の例示をする。
- ③相手の名前を言えたら1ポイントになる。
- ④中学生から What's my name?と小学生に質問をする。
- ⑤答えられなければ、自分の名前を教えてあげる。

【数字ゲーム】

ねらい：学級で行ってきたゲーム活動を中学生とやって、お互いの雰囲気をもたせる。

【やり方】

- ①4人のグループごとに行う。
- ②1回目は、英語で1から順番に交代で言っていく。
one パンパン（手拍子）→two パンパン→three パンパン・・・・・・・・
- ③最初の一人が「one」と言って他の一人を指さす。指された人は「2」と言って他の一人を指す。指された人は「three」と言って他の一人を指す。奇数は、英語。偶数は日本語で言う。
one パンパン（手拍子）→2 パンパン→three パンパン・・・・・・・・
- ④間違えたり、パンパンのリズムに合わなかった場合は、もう一度 one から始める。

【ペアとのインタビュー活動】・【全体でのインタビュー活動】

ねらい：「中学生の好きなものを聞きたい」という願いを持ち、What sports do you like?/I like baseball.の表現を発話し表現に慣れ親しんだり、相手とコミュニケーションを楽しんだりする。

【やり方】

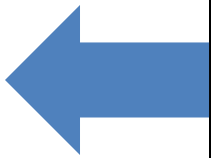
- ①T1 と T2 でやり方の例示をする。
- ②中学生と小学生でペアになる。
- ③お互いに自己紹介をして、顔写真シールを交換してインタビューシートに貼る。
- ④インタビューシートに沿って、相手に何が好きかを交代で聞いていく。

相手の名前				顔写真シール
スポーツ	キャラクター	食べ物	動物	フリー

- ④一人と終わったら、別の中学生とインタビュー活動を行う。

【対話のモデル】

S:Hello. I 'm 名前.
 C:Hello. I 'm 名前.
 お互いに握手をして顔シールを交換し、シートにはる。
 S:What sports do you like?
 C:I like baseball.
 質問は、一つずつ交代で聞いていく。
 C:What sports do you like?
 S:I like baseball.



- ◎やりとりのポイント
- ◇アイコンタクト ◇声の大きさ
- ◇表情等
- ◎児童が必要とする表現（予想）
- Me ,too. ○Thank you. ○Bye.

5 単元展開の概要

時数	学習活動	◆学級担任の活動 ◇ALT・中学教師の活動	●指導上の留意点 ◎評価の観点〈方法〉	教材
1	1 中学生とどんなことを話してみたいかを考える。	◆中学生にどんなことを聞きたいかを尋ねる。 ◆今まで学習してきた英語で使えるものはどれかをしぼっていく。 何が好きか。 どんなことが得意か。	●中学生は、どんなものが好きそうかを教師からも例を出しながら子どもたちと考えを出し合う。	
	本時の目標：中学生と自己紹介をする準備をしよう。			
	2 自分の名刺カードを作成する。	◆自己紹介カードを一人1枚渡し、好きなもの等を絵で描かせる。(後で顔写真シールを貼れるようにする)	●絵が難しい場合は、日本語で書かせる。 ●完成したカードを授業後にコピーして枚数を増やす。	
	評価 (◎)：中学生を意識しながら丁寧にカードを作る。 〈自己紹介カード〉			

<p>2</p>	<p>1 担任と ALT の例示を聞く。 【聞く】</p> <p>2 担任や ALT とやりとりの練習をする。 【聞く】 【記憶】</p> <p>3 学級の友だちどうしで練習をする。 【発話】</p>	<p>◆◇担任と ALT で、自己紹介カードを使った自己紹介の例示をする。</p> <p>【やりとりの例】 Nice to meet you. I'm 名前. I'm 年齢. I like~. I don't like~.</p> <p>◆◇担任と ALT が2手に分かれて、両端から一人ずつと自己紹介を行っていく。</p> <p>【やりとりの例】 教師:Nice to meet you. 児童:Nice to meet you. 教師:I'm 名前. I'm 年齢. 児童:I'm 名前. I'm 年齢 教師:I like~. I don't like~. 児童:I like~. I don't like~. 教師:Me too./Good. 教師:Thank you. Bye. 児童:Thank you. Bye.</p> <p>◆◇担任と ALT も混ざり、自信のなさそうな児童や日本語で自己紹介をしてしまっている児童と自己紹介を行う。</p>	<p>●相手の目を見て、はっきりと話すことが大切であることを伝える。</p> <p>●自信がない児童には、教師が見本を示してから、もう1回挑戦させる。</p> <p>●児童が I like~. I don't~. を使った時に、Me too.等 反応を返す。</p> <p>●周りの児童は、友だちの様子を見るようにさせる。</p> <p>●多くの友だちと関わるように促す。</p>	
<p>本時の目標：中学生に質問する練習をしよう。</p>				
<p>評価 (◎)：相手の目を見て、はっきりと伝える自己紹介の練習をしようとする。(行動観察)</p>				
<p>3</p>	<p>1 ウォームアップをする。【発話】 (5分)</p> <p>2 名刺を使っての自己紹介をする。 【発話】 (10分)</p>	<p>◆お互いにリラックスするために簡単にあいさつゲームをすることを伝える。</p> <p>◆◇T1 と T2 で例示をする。</p> <p>【やりとりの例】 T1:Hello. T2:Hello. 握手 T1/T2:123. ジャンケンをする。 T1:Bye. T2:Bye.</p> <p>◆◇T1 と T2 で例示をする。 ・握手とアイコンタクトを大切にする。</p>	<p>●握手とアイコンタクトを大切にする。</p> <p>●もらったカードを保管できるフォルダーを渡しておく。</p> <p>●言い方が分からない</p>	
<p>本時の目標：中学生と自己紹介をして仲良くなるよう。</p>				

<p>3 グループに分かれて自己紹介をする。 【発話】 (5分)</p> <p>4 グループでのビンゴゲームをする。【発話】 (20分)</p> <p>5 振り返り</p>	<p>【やりとりの例】 T1:Nice to meet you. T2:Nice to meet you. T1:I'm 名前. I'm 年齢. T2: I'm 名前. I'm 年齢 T1:I like~. I don't like~. T2: Me too./Good. T2:I like~. I don't like~. T1:Me too./Good. T1:Thank you. Bye. T2:Thank you. Bye.</p> <p>◆アイコンタクトをして名刺のやりとりができたかを聞く。</p> <p>◆名札の番号と同じ仲間どうしで集合させる。</p> <p>◆グループの中でもう一度自己紹介をすることを果たえる。</p> <p>◆◇T1 と T2 で例示をする。</p> <p>【やりとりの例】 T1:Nice to meet you. T2:Nice to meet you. T1:I'm 名前. I'm 年齢. T2: I'm 名前. I'm 年齢 T1:I like~. I don't like~. T2: Me too./Good. T2:I like~. I don't like~. T1:Me too./Good. T1:Thank you. Bye. T2:Thank you. Bye.</p> <p>◆ペアの相手を見ながら Do you like~?のビンゴシートを作成することを伝える。</p> <p>◆◇T1 と T2 で例示をする。</p> <table border="1" data-bbox="400 1240 1067 1379"> <tr> <td>たべもの</td> <td>フリー</td> <td>キャラクター</td> </tr> <tr> <td>スポーツ</td> <td>色</td> <td>フリー</td> </tr> <tr> <td>動物</td> <td>スポーツ</td> <td>たべもの</td> </tr> </table> <p>※文字は、薄く印刷しておく。</p> <p>◆ペアどうしでお互いに Do you like~?を使って質問をし、○×をつける。1回ずつ質問を交代する。</p> <p>◆◇T1 と T2 で例示をする。</p> <p>【やりとりの例】 T1: Do you like~? T2:Yes,I do./ No,I don't. T2: Do you like~? T1:Yes,I do./ No,I don't.</p> <p>◆終わったら、グループ内で別の人と行うように伝える。</p> <p>評価 (◎) : 自分から進んで中学生とあいさつをしたり、ビンゴゲームでやりとりをしたりしている。〈行動観察〉</p> <p>◆ペアへのメッセージカードに感想やメッセージ</p>	たべもの	フリー	キャラクター	スポーツ	色	フリー	動物	スポーツ	たべもの	<p>くってしまった児童には、中学生が教えてあげるようにする。</p> <p>●事前に4人1組の2ペアで1グループになるように分けておく。</p> <p>●自己紹介が終わったら・・・。</p> <p>●わかりやすいように黒板に拡大したシートを掲示する。</p> <p>●シートは、色・食べ物・スポーツ・キャラクター・フリーの5種類を9つのマスに記入できるようにしておく。</p> <p>●相手の目を見てはっきりと伝えることが大切なことを伝える。</p> <p>●記念に残るような</p>
たべもの	フリー	キャラクター									
スポーツ	色	フリー									
動物	スポーツ	たべもの									

	<p>をする。 (10分)</p>	<p>を記入して渡すように伝える。 ◆全体での感想発表をさせる。</p>	<p>カードを用意する。</p>											
4	<p>1 ウォームアップをする。 【発話】 (10分) ①What's my name? ゲーム ②数字を使ったゲーム</p>	<p>◆前時に作ったグループになり、お互い自分の名前を聞くゲームをすることを伝える。 ◆◇T1とT2で例示をする。 【やりとりの例】 T1:Hello. T2:Hello. T1: What's my name? T2:○○さん? T1:Good.Thank you. T2: What's my name? T1:○○さん? T2:Good.Thank you. ◆グループの中で、数字ゲームを行う。 ◆◇T1とT2が一つのグループに入って例示をする。 【やりとりの例】 C1:One. C2:2. C3:Three. C4:4. ◆いくつまで間違えずに続いたかを聞く。</p> <p>本時の目標：中学生に何が好きかを聞こう。</p>												
	<p>2 ペアの人 は、何が好き かを聞く。 【発話】 (5分)</p>	<p>◆ペアの人は何が好きかを交代で聞き合って、シートに記入することを伝える。 ◆◇T1とT2で例示をする。</p> <table border="1" data-bbox="395 1196 1070 1335"> <thead> <tr> <th>スポーツ</th> <th>キャラクター</th> <th>食べ物</th> <th>動物</th> <th>フリー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【やりとりの例】 T2:What sports do you like? T1:I like baseball. T2:中学生は、何か反応が示せるか? 質問は、一つずつ交代で聞いていく。 T1:What sports do you like? T2:I like baseball.</p> <p>◆一人が聞き終わったら、新しいシートで次のペアに質問をするように伝える。</p>	スポーツ	キャラクター	食べ物	動物	フリー							<p>●アイコンタクトやうなずき等の反応を大切に する。 ●わかりやすいように黒板に拡大したシートを掲示する。 ●シートには、一人1枚で5つの欄がある。 ①スポーツ ②キャラクター ③食べ物 ④動物 ⑤フリー ●中学生から質問させ、小学生のお手本になるようにする。</p>
スポーツ	キャラクター	食べ物	動物	フリー										
	<p>3 他のペアは何が好き</p>	<p>◆ペアじゃない中学生とも同様に、何が好きかを交代で聞き合って、シートに記入することを伝える。 ◆◇T1とT2で例示をする。</p>		<p>●相手のカードが誰のものか後でも分かる</p>										

<p>かを聞く。 【発話】 (15分)</p> <p>4 振り返り をする。 (10分)</p> <p>評価 (◎)：自分から進んで中学生に何が好きかを聞いたり、質問に答えたりしている。〈行動観察〉</p>	<p>【やりとりの例】 T2:Hello. I'm 名前. T1:Hello. I'm 名前. お互いに握手をして顔写真シールを交換し、シートに貼る。 T2:What sports do you like? T1:I like baseball. T2:中学生は、何か反応が示せるか? 質問は、一つずつ交代で聞いていく。 T1:What sports do you like? T2:I like baseball.</p> <p>◆ペアへのメッセージカードに感想やメッセージを記入して渡すように伝える。 ◆全体での感想発表をさせる。</p>	<p>ように、一人ひとりの顔写真シールを用意しておき、交換させる。 ●シートは、記入が終わったら1枚ずつフォルダに入れさせる。 ●記念に残るようなカードを用意する。</p>
---	---	---

6 本時案

(1) 主眼

中学生にもっと色々なことを聞いてみたいと願っている子ども達が、何が好きかをインタビューする場面で、相手の目を見ながらやりとりしたり中学生を手本に発話したりすることを通して、中学生と楽しくコミュニケーションを図ろうとする。

(2) 本時の位置

全4時間中の第4時

(3) 指導上の留意点 (本時の主眼に迫るために、特に指導に当たって配慮すること)

- ・やりとりのポイントは、T1とT2で具体的に良い例と悪い例を示す。
- ・インタビュー活動は、中学生が先にして小学生の手本となるようにする。
- ・インタビューシートは、記念になるようにフォルダに保管できるようにする。

(4) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応 S:中学生 C:小学生	◆T1指導 ◇T2指導 ◎評価	教材
導入	1. 挨拶をする。 ・小学生と中学生	<p>・まだちょっと緊張するな。</p> <p>【やりとりの例】 S:How are you? C:I'm~and you? S:I'm~. S:OK.Good! C:Thank you.</p> <p>・しっかりと挨拶できて良かった。 ・中学生に誉めてもらえて良かった。</p>	<p>◆全体に How are you?の挨拶をした後、グループ毎に挨拶をさせる。 ◇中学生に小学生を誉めるように伝える。</p>	

<p>2. ウォームアップ グループになって</p> <p>①What's my name?</p> <p>②数字ゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> 私の名前を覚えてくれているかな。 相手の名前は、〇〇さんだったかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【やりとりの例】</p> <p>S:Hello. C:Hello.</p> <p>T1: What's my name? T2:〇〇さん?</p> <p>T1:Good.Thank you.</p> <p>T2: What's my name? T1:〇〇さん?</p> <p>T2:Good.Thank you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 名前を覚えてくれていて良かった。 中学生と協力して頑張るぞ。 ちゃんと言えるかちょっと心配だな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【やりとりの例】</p> <p>C1:One.C2:2.C3:Three. C4:4.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> わかんないときは、教えてもらえて良かったな。 中学生と一緒に沢山の数字を言えたよ。 楽しくゲームができて面白かったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆◇前時に作ったグループで、お互い自分の名前を聞くゲームをすることを伝え、T1 と T2 で例示をする。 ◆◇名前がわからないければ、相手に教えてあげるようにさせる。 ◆◇グループの中で、数字ゲームを行うことを伝え、T1 と T2 が一つのグループを使って例示をする。 ◆いくつまで間違えずに続いたかを聞く。
--	---	---

<p>展開</p>	<p>本時の目標：中学生と色々な活動をしてもっと仲良くなるよう。</p>											
<p>2 目標を確認し、本時のポイントを確認する。</p> <p>3 グループ内で、インタビュー活動をする。【話す】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今日は、ペアの人が何が好きかを聞きたいな。 ペア以外の人とももっと仲良くなりたいな。 <p>・前回、Do you like~? と質問して No. と言われたところは、何が好きか聞けそう。</p> <table border="1" data-bbox="491 1615 994 1704" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>スポーツ</td> <td>キャラクター</td> <td>食べ物</td> <td>動物</td> <td>フリー</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【やりとりの例】</p> <p>S:What sports do you like?</p> <p>C:I like baseball.</p> <p>質問は、一つずつ交代で聞いていく。</p> <p>C:What sports do you like?</p> <p>S:I like baseball.</p> <p>同様に他の質問を繰り返す。</p> </div>	スポーツ	キャラクター	食べ物	動物	フリー						<ul style="list-style-type: none"> ◆相手と仲良くなるためには、アイコンタクトをして、はっきりと伝わるように話すことを確認する。 ◇中学生は、小学生をフォローして活動を進めるように伝える。 ◆◇ペアの人は何が好きかを交代で聞き合っ、シートに記入することを伝え、T1 と T2 で例示をする。 ◆アイコンタクトをして、はっきりと伝わるように話すことを確認する。 ◆一人が聞き終わったら、新しいシートで次の
スポーツ	キャラクター	食べ物	動物	フリー								

	<p>4 全体で、インタビュー活動をする。 【話す】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんは、私と同じ物が好きなんだ。 ・〇〇さんは、意外な物が好きだったな。 ・中学生が先に質問してくれたので、何で聞けばいいか分かったよ。 ・〇〇さんに聞きに行きたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【やりとりの例】 S:Hello. I 'm 名前. C:Hello. I 'm 名前. お互いに握手をして顔シールを交換し、シートにはる。 S:What sports do you like? C:I like baseball. S 中学生は、何か反応が示せるか？ 質問は、一つずつ交代で聞いていく。 C:What sports do you like? S:I like baseball.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生に英語が通じてうれしいな。 	<p>人に質問をするように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆インタビューが終わったら、お互いに日本語でもいいので、感想を伝え合うようにさせる。 ◆◇ペアじゃない人とも同様に、何が好きかを交代で聞き合って、シートに記入することを伝え例示する。 	
<p>評価 (◎) : 自分から進んで中学生に何が好きかを聞いたり、質問に答えたりしている。〈行動観察〉</p>				
<p>まとめ</p>	<p>5 振り返りをする。 ①グループ内 ②全体での感想発表</p> <p>6 挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の人の何が好きかを聞いて楽しかったです。 ・たくさんの中学生と仲良くなれて良かったです。 ・英語が通じてうれしかったです。 ・中学生は、いっぱい教えてくれて良かったです。 ・Thank you .See you. 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ペアへのメッセージカードに感想等を記入して渡すように伝える。 ◆全体での感想発表をさせる。 	

7 実証の観点

- ① 中学生に何が好きかをインタビューする場面で、相手の目を見ながらやりとりしたり中学生を手本に発話したりさせたことは、子ども達が楽しくコミュニケーションを図ろうとすることに有効であったか。
- ② 中学生とインタビュー活動をする場面で、お互いの顔写真のシールを交換したりカードにメッセージをかけるように工夫したことは、子ども達が楽しくコミュニケーションを図ろうとすることに有効であったか。